

(特非) 泉京・垂井

持続的で包括的な地域・環境ガバナンスの実現をめざす

～ローカル・アドボカシー・モデルの実践と創出～

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

実践

あどぼのゼミナール
参加者数 **53人**

あどぼのプラットフォーム参加団体 **15団体**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



SDGsオンライン講座 (21.3.13)

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

各地で多種多様なアドボカシーの手法があり、展開されている。しかしながら、それらがアドボカシー活動だと認識されていない。

■ 工夫した点

型にはまったアドボカシーを考えるのではなく、環境ガバナンスの実現には、多種多様な手法があることを前提に進めている。

課題

NGO・NPOのアドボカシー活動は国際的には活発に展開されているが、国内においてその必要性についての認識も不十分であり、そのための社会資源・基盤も脆弱である。

目標

ローカル・アドボカシー・モデルが全国的に広がって成果を収め、それによって持続的・包括的な地域・環境ガバナンスのあり方が各地で実現し持続的に機能し効果をもたらす。

活動内容と成果

- 【ローカル・アドボカシー・モデル実践・創出事業】
- ローカル・アドボカシー・モデルの構築 (京都・垂井)
- 全国各地へのローカル・アドボカシー・モデルの展開
- あどぼの双穴
- 【アドボカシー・プロセス/インフラ事業】
- 外務省との政策対話
- SDGs非営利コンサルティング事業の確立
- オンライン連続講座の実施
- あどぼのゼミナール実施
- 【アドボカシー・プラットフォーム構築事業】
- あどぼのプラットフォームの確立
- あどぼのプラットフォームによる協働講座の実施



あどぼの学校新HP開設



オンライン講座岐阜新聞報道

全助成期間の活動を振り返って

ローカル・アドボカシー・モデル (LAM) の実践・創出、アドボカシー・プロセス/インフラ、アドボカシー・プラットフォーム構築。LAMについては、都市型・地方型に加えて、その多様なあり方についての知見を確認するには至った。アドボカシー・プロセス/インフラについては3年間の間も変化が激しく、それに柔軟に対応してきた。そして、アドボカシー・プラットフォームが確立できたことは大きな成果となった。

〒503-2124
岐阜県不破郡垂井町宮代1794番地1
電話：0584-23-3010
E-mail：info@sento-tarui.org
HP：https://www.advo-citizen.org/



今後の展望

- 本事業の経験・成果を踏まえて、2021年度以降は次の三つの事業を中心に展開していく。
- ① “あどぼのプラットフォーム人材育成事業”の策定
 - ② “あどぼのプラットフォーム人材育成事業”の実施
 - ③ “あどぼのプラットフォーム”継承記録作成